

2021年7月号 / No.235 / 令和3年7月5日発行



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



子育て中！ カササギ親子 (撮影：徳淵 義実さん)

野鳥さが 235号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- ようこそ 佐賀支部へ！ 支部入会者情報-----2ページ
- 「カササギ保護」の取り組み-----3ページ
- 皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報 -----4ページ
- 皆さんからのおたより-----5ページ
- 近隣地区の探鳥会情報-----6ページ
- 探鳥会会場までの案内-----7ページ
- 探鳥会などのお知らせ（2021年7月～9月）-----8ページ



役員会報告

(事務局: 島田 洋)

【日 時】2021 年 6 月 27 日

【出席者】11 名

【主な話し合い項目】

- ① コロナ感染症拡大防止愛策のため中止していた今後の観察会等について協議した。
- ② 山階鳥類研究所の調査活動（バンディング）に協力していく（7～8 月頃の予定）。
- ③ 9 月 5 日の東よか干潟観察会開催維持にカウントの指導を行う。

ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

事務局 青柳 良子

支部報 234 号でお知らせした以降の入会者情報を お知らせいたします。

5 月入会者 2 名（家族会員 1） 6 月入会者 5 名（家族会員 2）

佐賀県支部の会員は現在 233 名です。

新型コロナウイルス感染予防のため野鳥の会の活動も自粛せざるを得ない状況です。

そんなこともあってか会員数がなかなか伸びません。

『観察会に参加できないから・・・』とか『高齢だから・・・』との理由で退会される方もあります。

私たち野鳥の会は鳥や自然を愛でる趣味の会ですが、同時に野鳥を大切にする活動を通して
どんどん失われていく自然を守る自然保護団体でもあります。

私たち一人一人の数が！

みんなの出し合う会費が！

自然を守る『力』になります！

「会員」でいることが「自然保護に協力していること」になるのです。

お願いです。経済的にご負担でなければ会に籍を置き続け、今残る自然を次の世代へ引き
継ぐ『力』を貸してください!!

みなさまの周りに 花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方がいらっしゃ
たら是非お誘いください。野鳥の会は 「いつでも入会 OK」です。

日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、
自然と人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護
団体です。



「カササギ保護」の取り組み

(事務局:青柳 良子)

昨年の7月 「保護したカササギの幼鳥を1ヶ月ほど県庁でお世話し、無事放鳥した。」というニュースが流れました。

カササギは県の鳥・しかも天然記念物なので県庁では「文化財課」が担当しています。巣から落ちて保護された幼鳥を吉野ヶ里の施設で飼育しているとのことでしたので、今年は見学に行ってみたくて思っていました。

5月19日(水)文化財課のカササギ担当の方からOKが出たので宮原・水田・青柳で「保護施設」を見学しました。

5羽の幼鳥が1羽ずつケージに入っていました。エサは九官鳥のエサを与えていました。ある程度大きくなったら「保護された場所に行って放す」とのことでした。

見せていただいて感じたことは

- ・あの狭いケージからいきなり広い場所で生きていけるだろうか？
- ・エサは与えられるのを食べるだけで、自分で探すという訓練を全然しないまま、果たして食べ物を捕ることができるだろうか？
- ・巣立った幼鳥はしばらくの間は仲間同士で暮らしているはず。1羽だけ放鳥されて大丈夫なのか？・・・

そんなことを思い、文化財課の担当者に「一緒に考えてもらい、話し合うこと」をお願いしてみました。

6月3日(木)県庁・文化財課の担当者二人と「カササギの保護」について話し合う場を持ちました。宮原・田中丸・青柳が行きました。

お願いしたことは・・・

- ・カササギは電柱に巣をかけることが多いのでどうしても九州電力に「巣をかけ始めたら住民からの苦情が来ても、巣を落とすことはしない」ことを理解していただかなければならない。
- また 県としても、県の鳥、天然記念物であることを九州電力や広く県民に説明し、繁殖が終わるまでは巣を落とさず見守ることが大切などと啓蒙に力を入れて欲しい。
- ・保護施設から放鳥するには もっと広いケージで飛ぶ力・エサの捕り方・仲間との関わり方などの学習を施してから 何羽かをまとめて放鳥するようにして欲しい。
- ・などでした。

県の担当者からは・・・

- ・一斉に放鳥するのはむずかしい・・・
- ・九電には「カササギがくわえていた針金を落とされてカーポートや車が傷つけられた」など住民の苦情に対応して、九電も苦勞されている。



- ・「放鳥するのにふさわしい場所」を提案して欲しい。
- ・ ・などの話がありました。

「カササギが減ってきている！」という私たちの思いを県の担当者にも感じて欲しいので県民へのアピール・九電へのアピールをお願いして県庁を後にしました。野鳥の会の取り組みの限界を痛感します。

今後新聞やテレビでカササギの保護について取り上げた報道が繰り返しなされることを期待して止みません。



(写真提供：水田 稔さん)



皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報

■秀島 泉さん（唐津市）

6月23日 【唐津市内の山林】ヤイロチョウ

目的は他の鳥だったのですが、声が聞こえたので待ちました。2日目の夕方、テントの近くで声がするので見渡すと居ました。ほんの10mもない近くの木の上にとまって鳴いていました。あわてまくって、シャッターを切りました。見つける前はテントの両サイドから鳴き声が聞こえていたので、



2羽以上 いると思いました。ペアリングしてここで繁殖してくれたらと思っています。そのためにはなるべく刺激をしないようにしたいですね。



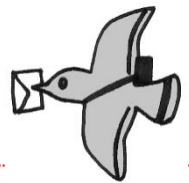
■馬場 順一さん（鳥栖市）

6月23日 【鳥栖市】シジュウカラ若鳥たち

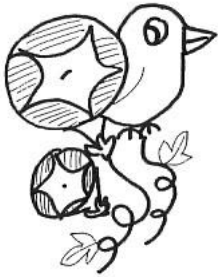
自宅アパート中庭の木で、シジュウカラの若鳥たちが「ジユクジユク、ジャージャー」騒ぎまくってました。 親？は平身低頭、謝っていた？



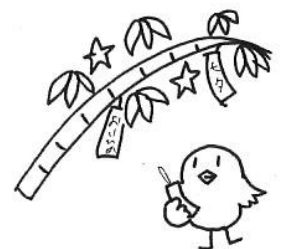
皆さんからのおたより



●橋間 みち子さん（小城市）



『野鳥』の読者の皆さんこんにちは
中村さやかさんのイラスト楽しみに
読んでいました。しかし5月24日発行
の東島大樹君のイラストも、けい
しはらく見とれていました。
私は多忙で探鳥会には行けません
図書館から3回借りて読んだ
『大英自然史博物館珍鳥標本
盗難事件』という本も
ついに買いました。
『死んだ鳥も大量に盗む？』
『いったいせんたいたれか
そんなことを？』
とてもおもしろく、考えさせられる本です



● 近隣地区の探鳥会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員&高校生 100 円 一般 200 円 中学生以下無料)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため当分の間、探鳥会情報掲載は見送ることにいたします。

お問い合わせは各支部のHPへ 福岡支部 <http://hachikuma3.blog.fc2.com/>

筑後支部 <http://grosbeak.blog.fc2.com/>

mini photo gallery (撮影：馬場順一さん / 九重&由布周辺)



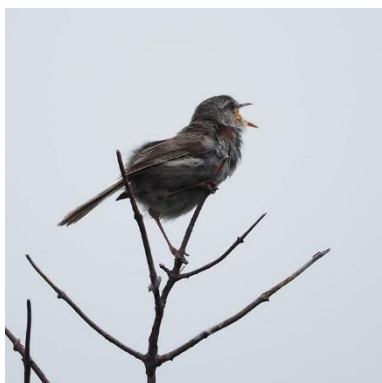
ホオアカ



ヒバリ



シカ・・・「おっさん誰や！」



換羽中の悲惨な姿で
囀るウグイス



エサを啜えたホオジロ
子育て中？



高らかに囀るクロツグミ

～野鳥さが原稿募集中～

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

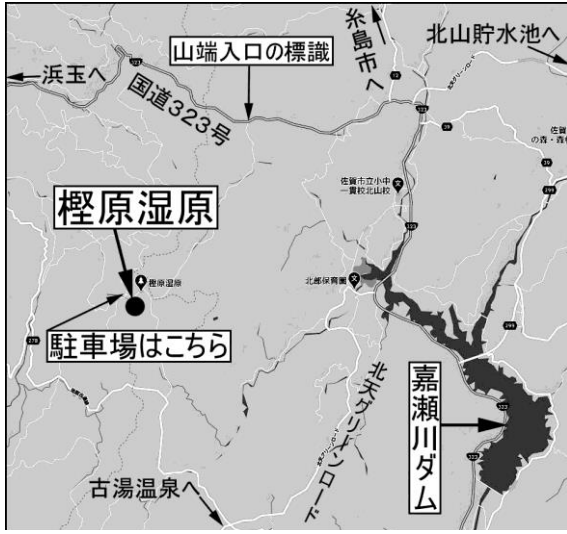
(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp



観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①7月11日 唐津市・榎原湿原



②7月25日 雲仙・あざみ谷(長崎県雲仙市)



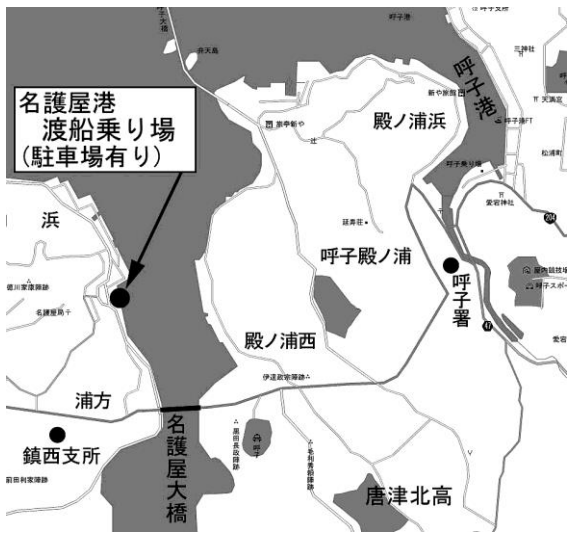
③8月22日 ⑤9月5日 佐賀市・東よか干潟



④8月29日⑥9月12日佐賀市・ツバメのねぐら



⑦9月26日 唐津市・馬渡島





探鳥会などのご案内 (2021年7月～9月)

①7月11日(日)

桧原湿原探鳥会(唐津市)

[時間&場所] 8:00

桧原湿原駐車場(唐津市七山池原乙 789)

[担当]宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085

[見どころ] カキランやサギ草の咲く湿原で「カッコウ」や「ホトトギス」の歌を聞きます。(トイレあり)

③8月22日(日) ⑤9月5日(日)

東よか干潟(大授搦)探鳥会(佐賀市)

[時間&場所] 8/22、9/5とも 7:00

東よか干潟展望台(佐賀市東与賀町田中)

[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225

加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560

[見どころ] 北の国で繁殖を終え、渡り出した「シギ・チドリ類」を観察します。

9/5は「シギ・チドリ類カウント」の実習をします。「カウンター」をお持ちの方持参ください。

⑦9月26日(日)

馬渡島探鳥会(唐津市)

[時間&場所] 名護屋港 (唐津市鎮西町名護屋 1260)を 8:35 発の渡船に乗船。帰りは馬渡島 13:00 または 16:00 発

[担当]馬場 清さん(嬉野市)090-1084-3852

[見どころ] 島嶼固有の「カラスバト」を観察します
※弁当持参。少しアップダウンのある島内を歩きます。軽快な足回りを。

②7月25日(日)

雲仙・あざみ谷探鳥会(長崎県雲仙市)

[集合] 08:00 長崎県雲仙市小浜町 仁田峠の雲仙ロープウェイ駐車場

[担当] 橋本 泰博さん(みやき町) 090-8833-6130

[見どころ] 「あざみ谷」の水溜りに水浴びに訪れる小鳥たちを観察します。「オオルリ」「ヤブサメ」「キビタキ」「クロツグミ」等が訪れます。

※弁当・携帯用の椅子・上着を持参してください。

④8月29日(日) ⑥9月12日(日)

ツバメのねぐら 観察会(佐賀市)

[集合] (8/29)18:00 (9/12)17:30

佐賀市川副町の大詫間公民館 駐車場

[担当] 永島 博さん(佐賀市) 090-1360-8940

宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085

[見どころ] 繁殖が終わり、河口の葦原で集団塒(ねぐら)をとるツバメを観察します。

観察会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、又は宮原支部長の携帯電話(090-2507-7085)へ連絡をして下さい。



共通事項

- ① 参加費(資料代、保険代)佐賀県支部会員 100円 非会員は 300円
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 のNHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)
事務局：島田 洋 (☎ 090-2393-1286)
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>